

# Tile 使い方ガイド

## 目次

目次 .....	2
セットアップ .....	3
1. アプリのインストール .....	3
2. アプリのセットアップ .....	4
3. ペアリング .....	7
4. 鳴らしてみよう .....	10
譲渡の方法 .....	12
共有方法 .....	14
共有の解除の方法 .....	16
Tile を非表示にする方法 .....	18
Tile を再表示する方法 .....	19
スマートスピーカー設定 .....	20
Amazon Alexa の設定 .....	20
Google アシスタントの設定 .....	23

# セットアップ

## 1 アプリのインストール



アプリマーケットより「**tile**」と入力後検索してください

または、下記アイコンのクリック/QRコードにてインストールをしてください

- iPhone/iPad の方



- スマートフォン/タブレットの方



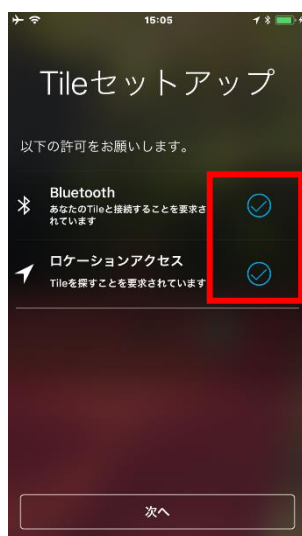
# セットアップ

## 2 アプリのセットアップ

アプリを起動し、セットアップします  
アプリの説明に沿って、画面を進めてください

	<p>① 「新規登録をタップ」</p>
	<p>② Email アドレスとパスワードを設定</p>

# セットアップ



③ Bluetooth と位置情報へのアクセスを許可します

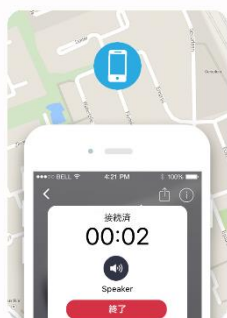
Tileへようこそ

tile



④ 画面を右にスワイプして進め、機能説明をご確認ください。

スマホを探します  
Tileのボタンを2度押すとスマホが鳴ります。別の端末からあなたのスマホを鳴らすこともできます。



Tileの使用を開始

⑤ 「Tile の使用を開始」のボタンを押下

# セットアップ



⑥ 通知を許可すれば完了です

## 3 ペアリング

お手持ちの Tile とアプリをペアリングします

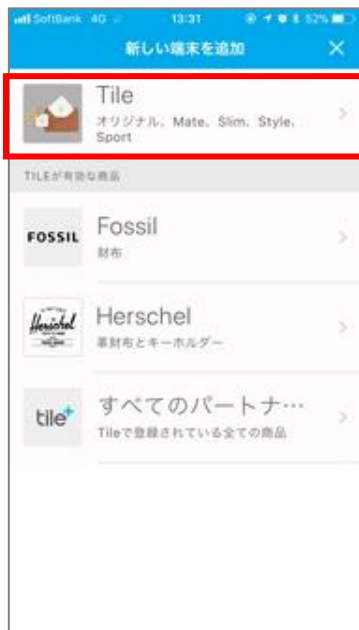


① Tile を追加します。  
+ をタップ



② 左記画面が表示されたら、Tile から届くメール内の“Email”を認証をタップしてください。自動アクティベーションが実行されますが、うまくいかない場合は、メール記載の6桁の番号を入力してください。この画面が表示されない場合は次へ進んで下さい。

# セットアップ



- ③ お持ちの Tile の種類  
を選びます  
赤枠をタップ



- ④ お持ちの Tile をタッ  
プ



- ⑤ Tile の中央のロゴを  
1 回押すと音（メロデ  
ィ）が鳴ります



# セットアップ



⑥ アクティベーション  
完了画面までお待ちく  
ださい



⑦ この画面になればペ  
アリング完了です

# セットアップ

## 4 鳴らしてみよう

あと一歩です。試しに鳴らしてみましょう



① tile を付けるアイテムをタップ



② 「探す」をタップすると tile が鳴ります♪

# セットアップ

	<p>③ 逆に tile のロゴを2回押すとスマホが鳴ります♪</p>
	<p>④ スマートフォンは、サイレントモードにしているでも鳴ります</p> <p>※音が鳴らないスマートフォン端末もごさいます</p>

アクティベーション済の Tile を友人や家族に譲渡したい場合

## 1 事前設定

譲渡したい方に Tile アプリのインストールおよびセットアップ、アカウント作成まで準備していただいてください。

## 2 譲渡の設定方法



① 譲渡したい Tile を  
開き  
オプション>詳細  
をタップ



② 「Tile を転送」をタップ



③ 譲渡する方の Tile アカウント（メールアドレス）を入力後[提供]をタップ



④ 譲渡完了  
転送が完了すると、元の持ち主は利用できなくなります  
譲渡を受ける方のアプリで、利用できるようになっているかご確認ください

## Tile を別のデバイスと共有する方法とその解除の方法

### 1 事前設定

共有したい方に Tile アプリのインストールおよびセットアップ、アカウント作成まで準備していただいてください。

### 2 共有の設定方法



- ① 共有したい Tile を開いて  
オプション>[共有します]  
をタップ



② 共有したい相手の Tile アカウント（メールアドレス）を入力後 [共有します] をタップ







③ 共有完了です

- ✧ Tile との接続は 1 対 1 です  
2 つのスマホから同時に音を鳴らしたりすることは出来ません
- ✧ 別のスマホで Tile を探すには、片方のスマホの Bluetooth 接続が切れている必要があります



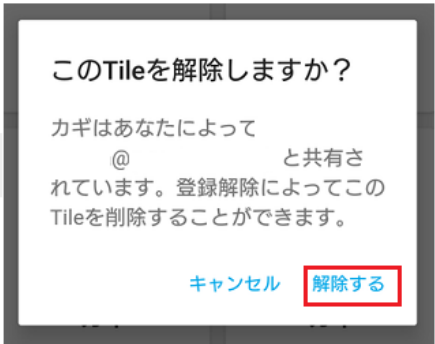
### 3 共有の解除の方法

#### ● 共有したユーザーからの解除方法

	① 共有した Tile の画面の編集をタップ
	② 赤いサークルマークをタップ
	③ 共有取り消しをタップ
	④ 共有リストから消えました



## ● 共有されたユーザーからの解除方法

	<p>① 共有されている Tile 右上の三連ドットをタップ</p>
	<p>② 「共有取り消し」を タップ</p>
	<p>③ 「削除する」をタップ</p>

## Tile の非表示設定

使用していない Tile や制限数量以上の Tile を接続している場合、使わない Tile を画面から非表示にすることが出来ます。(非表示にすると Bluetooth 接続はされません)。

### 1 非表示の方法



- ① 該当 Tile の右上…  
をタップ  
→[Tile を編集]をタップ



- ② 下部の[Tile を非表示]  
をタップ  
→Home 画面から消えます

## 2 再表示の設定



① Home 画面の設定アイコン（歯車マーク）をタップ



② [非表示 Tile を管理する]をタップ



③ 再表示させたい Tile の[表示] をタップ


# スマートスピーカー対応

「Amazon Alexa」や「Google アシスタント」を搭載したスマートスピーカーに呼びかけて Tile を鳴らしたり、スマートフォンを鳴らすことができます。

## スマートスピーカーでできること

1. Tile を鳴らす
2. スマホを鳴らす
3. Tile の最後の検知した住所の読み上げ


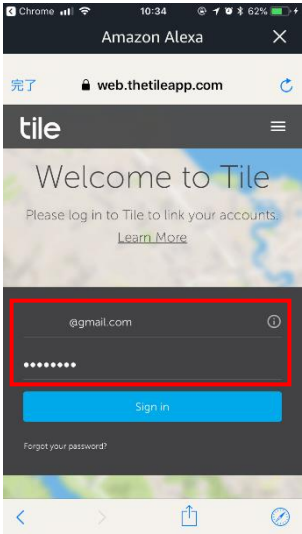

## Amazon Alexa の設定方法

Tile と Amazon Alexa をつなぐには、Tile のスキルを有効にする必要があります 



- ① Alexa アプリに「Tile」を入力しスキルを検索

# スマートスピーカー対応

	<p>② [有効にする]をタップ</p>
	<p>③ Alexa と Tile アプリをリンクします。</p> <p>※Tile アカウントでサインインします</p>
	<p>④ 設定完了</p>

## Amazon Alexa に話しかけてみよう

Alexa に「アレクサ、タイルで〇〇して」と話しかけてください



- Tile を鳴らす  
「アレクサ、タイルでカギを鳴らして」
- スマートフォンを鳴らす  
「アレクサ、タイルでスマホを鳴らして」
- Tile の最後の検知した住所の読み上げ  
「アレクサ、タイルでカギの場所を教えて」

### \*注意\*

必ず『タイルで』と言ってください。  
「タイルを鳴らして」 や  
「タイルを使ってスマホを探して」  
では 正しく反応しません。

# スマートスピーカー対応

## Google アシスタント

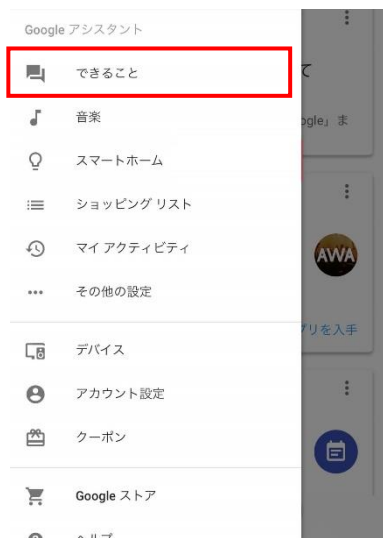
### 1 事前設定

Google Home で利用する場合、Google Home アプリと Google アシスタントアプリの両方を事前にインストールする必要があります

### 2 Google アシスタント設定



- ① Google Home を起動  
左上の三本線メニューを押下し、「できること」を押下します  
Google アシスタントアプリに自動的に遷移します



- ② 「アート&ライフスタイル」>「その他」の中の「Tile」カードを押下

# スマートスピーカー対応

- ③ 青色の“試してみる”ボタンを押して Tile アカウントと連携してください

## Google アシスタントに話しかけてみよう

Google アシスタントに「OK Google, **タイルを使って●●して**」と下記のように話しかけてみてください

### ■ Tile を鳴らす

「OK Google、タイルを使ってカギを鳴らして」

### ■ スマートフォンを鳴らす

「OK Google、タイルを使ってスマホを鳴らして」

### ■ Tile の最後の検知した住所の読み上げ

「OK Google、タイルを使ってカギの場所を教えて」

### \*注意\*

必ず『**タイルを使って**』と言ってください。

「タイルでカギを鳴らして」 や

「タイル、スマホを探して」

では 正しく反応しません。